

地域から発信、全国で共同 ～消費者の対話、選択、行動が未来を変える～

「全国消費者大会」は今回で56回目の開催となる消費者と消費者団体の集会です。今回も「世界消費者権利の日 World Consumer Right Day」に合せて開催します。

※世界消費者権利の日（2018年3月15日）テーマ「デジタル市場をより公正に」

地域の消費者団体はさまざまなテーマで活動しています。それは、消費者被害、食料・農業問題、エネルギー・環境問題、税・社会保障制度、改憲問題など多岐にわたります。その問題の解決に当たっては、消費者団体と多様な地域の諸団体との共同の取組みも始まっています。

いくつかの団体の活動経験を題材に、消費者団体の活動のあり方を考えてみます。

全体会

日時：2018年3月17日（土）
9：30～12：00

場所：B2階 クラルテ

講演：「都内の消費者団体交流会から
見えてきたこと」

講師：釜井 英法さん
（弁護士、日弁連消費者問題対策委員会委員）

報告：「埼玉県消団連の活動の経験とこれから」
岩岡 宏保さん（埼玉県消費者団体連絡会代表幹事）



釜井 英法さん

日程と会場

2018年3月16日（金）～3月17日（土）

主婦会館プラザエフ内各会場

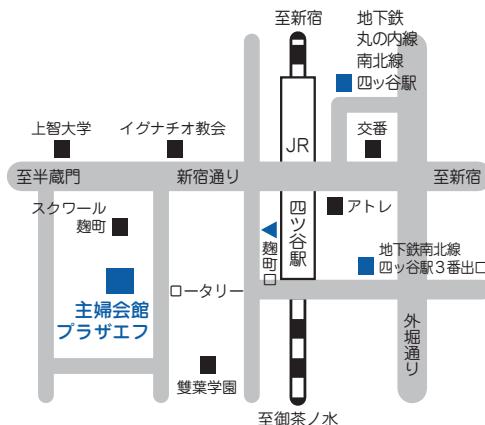
〒102-0085 東京都千代田区六番町15

電話 03-3265-8111

主催 第56回全国消費者大会実行委員会

参加費 おひとり1,000円（学生500円）
（全体会、特別分科会、各分科会の全てにご参加いただけます）

託児 あり 料金：1人 500円 ※託児（受入可能年齢6ヶ月～9歳）をご希望の方は3月8日（木）までに事務局にお問合わせください。（期日までにご希望がない場合は、取り止めさせていただきます。）TEL：03-5216-6024



第56回全国消費者大会(3月16～17日開催) 《参加申込用紙》

参加 申し込み方法

申し込み用紙をご利用の上、FAXか電子メールで、右記までお申し込みください。

締切日：3月8日（木）

FAX：03-5216-6036

メールアドレス：webmaster@shodanren.gr.jp

全国消費者団体連絡会事務局気付
第56回全国消費者大会実行委員会事務局
〒102-0085 東京都千代田区六番町15
プラザエフ6階

電話：03-5216-6024

ホームページ：http://www.shodanren.gr.jp

参加者のお名前およびご所属団体名	参加希望企画に○をつけて下さい。		
	3/16分科会 13:00～	3/16特別分科会 17:00～	3/17全体会 9:30～
お名前： ----- ご所属団体名：	消費者政策 環境 雇用・貧困・社会保障 食	特別分科会	全体会
お名前： ----- ご所属団体名：	消費者政策 環境 雇用・貧困・社会保障 食	特別分科会	全体会

ご連絡先TEL:

* どなたでもご参加いただけます。お気軽にお申し込み下さい。

* いただいた情報は消費者大会参加集約の目的以外には使用いたしません。

* お申し込み状況によっては、分科会の間で参加者を調整させていただく場合があります。予めご了承ください。

分科会

2018年3月16日(金)

「消費者政策」分科会 13:00~16:00

テーマ：ネット取引の「落とし穴」?!
～アクティブシニアも若者もトラブルに
まきこまれないために～

会場と規模：B2階 クラルテ (70名)

報告と講演：福井晶喜さん(独立行政法人 国民生活センター)
原田由里さん(一般社団法人 ECネットワーク)
池本誠司さん(埼玉弁護士会)



原田由里さん



池本誠司さん

積極的にネットを利用するシニア層による消費者トラブルが増加しています。デジタルネイティブ世代の若者においても、SNS等の利用によりトラブルが拡大

しています。情報化社会の中、複雑化しているネット取引の現状や新しい決済の仕組み等を知り、消費者被害の現状を把握するとともに予防策や法律での手当等についても学び、今後被害に遭わないためにどうしたらいいのかを考えます。

「雇用・貧困・社会保障」分科会 13:00~16:00

テーマ：女性・若者の働き方と貧困
～社会保障と税のあり方を考える～

会場と規模：5階会議室 (60名)

講演と全体討論：竹信三恵子さん(和光大学現代人間学部教授)



竹信三恵子さん

日本型雇用が刻々と変化するなかで、世代間断層や階層間断層が生じ、女性や若者、高齢者が貧困に陥っている昨今。なぜこのような断層が生じるのか！なぜ雇用環境が変わらないのか？この分科会では、元朝日新聞記者で和光大学教授の竹信三恵子さんを招き、「“嫁福祉”の突破が貧困を解決する！」と題し、女性や若者、高齢者がなぜ活躍できないのかを問い、社会保障や税の再分配のあり方や求められる働き方などについて参加者の皆さんと考えたいと思います。

特別分科会

2018年3月16日(金)
17:00~19:00

テーマ：改憲で暮らしはどうなる？

会場と規模：B2階クラルテ (150名)

被災地からの報告：

宮城：千葉淳子さん(みやぎ生協地域代表理事)

福島：佐藤一夫さん(福島県生協連 専務理事)

講演：太田伊早子さん(弁護士、神奈川県弁護士会消費者問題対策委員会委員、明日の自由を守る若手弁護士の会)



太田伊早子さん

2017年の衆議院選挙で憲法改正の国会発議条件が整い、政府は改憲に向けた動きを加速させようとしています。現政権はなぜ改憲をしたいのでしょうか？「美しい日本の憲法」とは何を意味し日本をどのような国にしたいのでしょうか？日本国憲法(戦後の憲法)は国家権力を縛り、個人を大切にし、平和を守ってきました。宮城・福島からの被災地報告を交え、改憲したら私たちの暮らしがどうなるのかを考えます。

「環境」分科会 13:00~16:15

テーマ：持続可能な地球環境づくりの目標に向けて
～SDGsから考える～

会場と規模：3階会議室 (50名)

報告：百瀬則子さん(ユニー株式会社執行役員業務本部CSR部長)
高橋巧一さん((株)日本フードエコロジーセンター代表取締役)



百瀬則子さん



高橋巧一さん

2015年、国連にてSDGs(エスディーゼー/持続可能な開発目標)が採択されました。「気候変動に対策を」や「海の豊かさを守ろう」など17の目標からなるSDGsは、過

去20年の国際的な環境政策の到達点とも評されます。

採択の背景には、もはや看過できないほどの地球の危機的状況があります。だからこそ国のみならず、企業や協同組合、市民組織なども実行者として位置づけられています。

これらを背景に、SDGsに関する解説や実際の取り組み事例を学び、私たちがすべきことを考えます。

「食」分科会 13:00~16:30

テーマ：食べることから見えるエシカル
～カフェで語ろう～

会場と規模：8階スイセン (80人)

講演：柿野成美さん(公益財団法人消費者教育支援センター 総括主任研究員)

報告：野川未央さん(特定非営利活動法人APLA)
松本英明さん(日本生活協同組合連合会
ブランド戦略本部政策基準担当)



柿野成美さん

「なぜ、この商品はこんなに安くできるのだろうか？」と考えたことはありませんか？気候変動、貧困、紛争など、私たちがくらす地球には様々な問題があります。私たち消費者は「エシカル消費」を通してそれらを解決し、持続可能な社会づくりに参加することができます。エシカルなチョコレート

とお茶を楽しみながら、グループワークを通して一人一人ができることを考えます。